

株式会社加勢、大阪府門真市において 新物流センター「門真フォースパーク」の開発を決定

3PL企業と荷主をつなぐ4PLのフロンティアとして物流に新たな価値を提供する株式会社加勢（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役：風間國義）は、物流不動産の所有・運営・開発のプロロジス（日本本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：山田御酒）に、約16,000㎡の専用物流（BTS型）施設の開発を依頼し、大阪府門真市において「加勢門真フォースパーク（仮称）」を開発することを発表した。



〈完成イメージ〉

加勢は、「門真フォースパーク」を、高付加価値を有する戦略的拠点と位置付ける。大阪中心部至近に位置する希少な立地を活かし、従来の日雑品はもちろんのこと、Eコマースや医薬品などの物流業務の受託を想定している。Eコマースでは、大阪・京都・神戸など関西の消費地へのアクセス利便性を活かし、商品の即日配送を含む輸配送業務や、流通加工業務を想定する。また、日雑品、医薬品においても、自社の配送ネットワークを活用。近隣の病院や医療施設、調剤薬局などにも即日配送を可能とする物流網を整備し、より緊急性の高い商材を取り扱う企業及び物流会社をターゲットとして、荷主を募る考えである。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社加勢 営業企画/開発準備室 担当：松野
Tel/06-4964-3351 Fax/06-4964-3344
E-mail/kasei_info1998@kasei-inc.co.jp



■開発地

「門真フォースパーク」は、大阪市内中心部まで約20分、京都市内中心部まで約35分の地点に都心型の物流施設として開発される。近畿自動車道「門真」ICまで約900m、第二京阪道路「第二京阪門真」ICまで約1.5kmといずれも至近に位置する。さらに、最寄り駅である大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南」駅から、心斎橋まで26分、梅田まで39分と、通勤の観点からも利便性が高い。近隣には住宅地が広がり、雇用確保にも有利なエリアである。

■施設計画概要

「門真フォースパーク」は、約8,300㎡の土地に、4階建て延床面積約16,600㎡の物流施設として開発される。医薬品等の保管を想定し、保冷庫の導入を検討している。

名称(仮称)	加勢門真フォースパーク
開発地	大阪府門真市東田町
敷地面積	約 8,300㎡(約2,510坪)
計画延床面先	約 16,600㎡(約5,020坪)
構造	地上4階建て
竣工予定	2018年11月

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社加勢 営業企画/開発準備室 担当:松野
Tel/06-4964-3351 Fax/06-4964-3344
E-mail/kasei_info1998@kasei-inc.co.jp